

○、てんや。せむきかならむつけましよう。
 ○、てんや。せむき。「はそれぞれひとほごりましよう。
 ○ひやうとやおはなのごころは、」。をつけましよう。
 ＊＊○「おかしい」と思ったら書きなおしましよう。
 ＊＊○ならったかん字はつかいましよう。
 ＊＊○書いてしまったらこえをだしてよみましよう。

ず。とつづけるよ
 べふ小ニの五 フライア けい
 ぼくは、うんどうをするのが
 すきです。その中でも走るのが
 大すきです。もっとはやくなり
 たいから、今じやうなんをか
 ばています。

本でしらべてみると、じやう
 なんはけがのよぼうと、うごき
 きよくするやく目があります。

今年の一月から、毎日おふる
 上にグーチヨキパーとかいき
 やくをしていきます。まず、グ
 チヨキパーは、立つたじよ
 いで手をゆかにつけて二十び
 う数えます。それぞれ形でし

○、(てん)や。(まゐ)をかならずつけましょう。
 ○、(てん)や。(まる)「」はそれぞれひとはこりましょう。
 ○ひとりごとやおはなしのころは、「」をつけましょう。

 ○ならったかん字はつかいましょう。
 ○書いてしまったらこえをだしてよみましょう。

 ○「おかしい」と思ったら書きなおしましょう。

ます。つぎに、かいきや
 足をひらいていきをはきなから、
 できるだけ体を前にのばします。
 さいしょはかたかたけど、今
 は、やわらかくなっ
 てきました。
 一年生の体カテストでは、長
 ざ体前くつが二十四センチでし
 たが、二年生では五十六センチ
 でした。三十二センチものびて
 ともうれしか
 たです。
 そして、お父さんや兄だ
 いと、
 週に二回公園で走
 っています。
 走ったあとはとても気もちが
 い
 います。
 走っているとき、
 さんぽをして
 いるおじいさんや
 おばあさんが

○、てん(ん)や、ま(る)をかならずつけましよう。
 ○、てん(ん)や、ま(る)「」はそれぞれひとほ(と)どりましよう。
 ○「おかし」と思(おも)ったら書(か)きなな(な)おしましよう。
 ○ならったかん字(じ)はつかいましよう。
 ○書いてしまったら「えをだしてよましよう。」

ら、

「はやいね。かんばれ。」

と、言(い)われます。毎日(まいにち)かいき

やくをしてい(い)るので少(すこ)しはやく

な。た気(き)がしま(ま)す。

ほくのおばあ(お)さんもよ(よ)くさん

ほに行(い)ていま(いま)した。だ(だ)けど、

足(あし)の手(て)じ(ぢ)つ(つ)を(を)してか(か)ら、あ(あ)ま

り行(い)か(か)な(な)く(く)な(な)り(り)ま(ま)した(た)。だ(だ)か(か)ら

今(いま)ど(ど)は(は)ほ(ほ)く(く)か(か)お(お)ば(ば)あ(あ)さ(さ)ん(ん)に(に)教(お)え

ま(ま)す。け(け)が(が)を(を)し(し)な(な)い(い)よ(よ)う(う)に(に)、毎(まい)

日(ひ)さ(さ)ん(ん)ほ(ほ)に(に)行(い)け(け)る(る)よ(よ)う(う)に(に)、一(いっ)

に(に)じ(ぢ)う(う)な(な)ん(ん)を(を)し(し)た(た)い(い)で(で)す。

「お(お)ば(ば)あ(あ)ち(ち)ゃ(ゃ)ん(ん)、一(いっ)緒(しょ)に(に)じ(ぢ)

う(う)な(な)ん(ん)を(を)し(し)よ(よ)う(う)よ(よ)。」